

人口減少社会に向けて、

まちを知ってみよう

前回のシリーズ①で鳥羽の人口減少、少子・高齢化についてお伝えしました。

今回は、これから始まる取り組みについて紹介します。

健康福祉課生活支援係 ☎(25) 1181

地域共生社会ってなに？

これから予想される人口減少、少子・高齢化の時代に向けて、地域共生社会の実現が求められています。

地域共生社会とは全ての人々が、地域、暮らし、生きがいと共に作り高め合う社会で、実現のためには支え手側と受け手側（支えられる側）に分かれるのではなく、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、また、福祉などの地域の公的サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる仕組みを構築することが必要だといわれています。

地域生活課題を 知ろう！

社会福祉法のなかで、初めて「地域生活課題」という言葉が使用され、地域住民などには関係機関などの連携により地域生活課題を解決していくことが必要とされています。

地域によって地域生活課題は異なり、高齢者の買い物についてや行事の存続など抱える課題はさまざまです。また、伝統的に続いている祭りやさまざまなつながりなど強みとなる部分もたくさんあります。

わたしたちは、これからまちのことを考える時に、強みも弱みもまとめて考えていくことが必要となります。

みんなで取り組もう！

地域住民、福祉に関する活動を行うかた、福祉の事業者、行政の全員が協力して地域生活課題を解決していくことが、法律にうたわれています。それぞれ立場が違いますが、地域共生社会の実現のために手を取り合って協力することが必要になっていきます。

まずは、話し合おう！

まちのために何をすればいいのか。まずは、みんなで話し合みましょう。

ご自身の地域のことをどこまで知っているでしょうか。住んでいる人、お店や祭りについて、意外に知らないことがあるかもしれません。

地域を知ることが、良いところと良くないところの両方を知ることが重要です。

輝いている地域の魅力など良いところを伸ばしつつ、良くないところはどうしたら改善できるかを考えていきましょ。その話し合いが、地域共生社会の実現に結びついていきます。

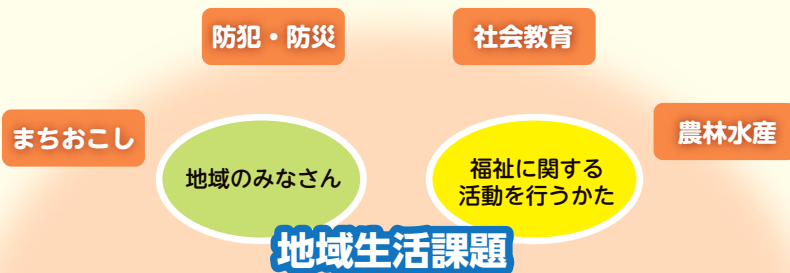
みんなで話し合える場を作り、楽しいことから困っていることまで、なんでも話し合いをしましょう。

話し合う場を 持ちましょ

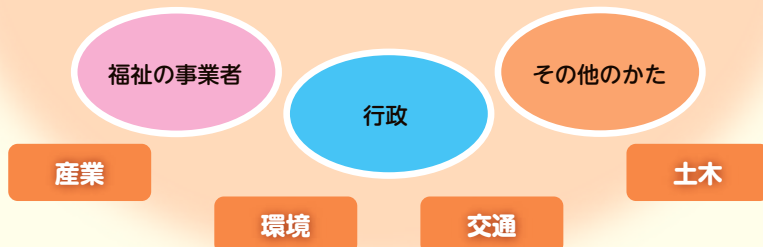
話し合いをするために、まちのみんなが集まり語り合う場を作りましょ。

その場所は、公民館でも、まちの空き家でも構いません。まちの人が誰でも参加できる、開かれた話し合いの場を作り、まちのことを話し合いましょ。

まちのことなんでもいいから話し合おう



- ①福祉サービスを必要とする地域住民と世帯が抱える福祉、介護、介護予防、保健医療、住まい、就労、教育に関する課題
- ②地域社会からの孤立に関する課題
- ③あらゆる分野に参加する機会の確保の課題



また、地域住民だけでなく、福祉に関する活動を行うかた、福祉の事業者、行政といったさまざまなかたが話し合いをしましょ。その中で、話し合いの場づくりを支援するのが、鳥羽市社会福祉協議会です。次回のシリーズ③で、鳥羽市社会福祉協議会が行っている「まちトーク」について紹介します。